

令和元年度

芦別市財政健全化審査意見書

芦別市経営健全化審査意見書

芦別市監査委員

令和元年度芦別市財政・経営健全化審査意見

第1 審査の概要

1 審査の対象

市長から提出された、健全化判断比率、資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類（以下「審査対象書類」という。）を審査の対象とした。

2 審査の期間

令和2年9月1日から同年10月15日まで

3 審査の方法

審査対象書類に記載されている計数が正確に表示されているか、また、適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

第2 審査の結果

1 財政健全化審査の総括

審査対象書類は、関係法令等に準拠して調製され、表示されている計数は正確であり、適正に作成されているものと認められた。

また、次のとおり全ての比率において早期健全化基準を下回っているものの、将来負担比率については、将来負担額が約169億円あることから将来を見据えた財政運営が図られるよう期待する。

（単位：％）

健全化判断比率名	令和元年度	早期健全化基準	平成30年度	早期健全化基準
実質赤字比率	— (△4.21)	14.44	— (△1.40)	14.43
連結実質赤字比率	— (△10.15)	19.44	— (△7.52)	19.43
実質公債費比率	5.9	25.0	6.9	25.0
将来負担比率	92.6	350.0	93.6	350.0

※ 「—」は、実質赤字額又は連結実質赤字額がないことを示している。
なお、（ ）内は算定結果を数値で表示した場合の比率である。

2 経営健全化審査の総括

審査対象書類は、関係法令等に準拠して調製され、表示されている計数は正確であり、適正に作成されているものと認められた。

また、次のとおり財政健全化法による計数上は水道事業会計、下水道事業特別会計において資金不足が生じていないが、市立芦別病院事業会計においては資金不足が生じていることから、経営状況が悪化した要因を分析し、今後更なる経営健全化に努め、適切な事業運営を期待する。

(単位：%)

会計名	令和元年度 資金不足比率	経営健全化基準	平成30年度 資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	— (△150.8)	20.0	— (△148.2)	20.0
市立芦別病院 事業会計	10.3		10.5	
下水道事業 特別会計	— (0.0)		— (0.0)	

※ 「—」は、資金不足がないことを示している。

なお、()内は算定結果を数値で表示した場合の比率である。